

日本共産党 岡山市議会議員

林じゅんニュース



2018年10月28日 No.42

日本共産党岡山市議団
岡山市北区大供 1-1-1
tel 086-803-1707
fax 086-234-9388

林じゅん 検索



被災者に 寄り添う。 災害を繰り返 返させない。

9月議会は、平成30年7月豪雨の被害や対応が重要課題でした。同時に通常の市政も動いています。まちづくりの議論も外せません。いざという時も安心できる、くらしやすい岡山市を目指して、議論に取り組みました。



百間川河川敷の設備も流失



いつもとは違う所も冠水(中区中島)



質問する林じゅん議員

移動しやすいまちづくり

車の運転が出来なくても移動しやすいまちづくりは、高齢者から子どもまで暮らしやすい街にすることと環境面から大切です。

市は、バスのダイヤと料金設定を調整して、利用者に分かりやすく、事業者が持続可能になるイメージを出しました。市民と交通事業者からなる法定協議会で協議します。

調整は簡単ではありませんが、市民も事業者も、市が主導権を発揮してほしいと期待しています。林じゅん議員は、高齢者割引き定期の提案などをしながら、交通網整備を求めています。

百間川の改修と 中区の浸水対策

一の荒手の改修により7月豪雨や台風の際に百間川への流入量が増え、地域の排水に影響が出た、との住民の不安もあります。

改修で大雨の際の流量を旭川に4000トン、百間川に2000トンと分けて旭川の決壊を防ぐ計画です。

日本共産党岡山市議団は、3月に学習会「百間川の改修と岡山市内の防災」を開き、市民と国・県の担当者の質疑応答をしました。

引き続き、住民への情報提供と排水ポンプの運用など中区の浸水対策に取り組みます。

林じゅん生活・法律相談

第一月曜日に相談日を設けています。

予約はこちら

☎086-273-2221

7月豪雨災害
対策
特集
中面に
うつ